



ELLE

TRAVEL
たった1泊で大満足♡
幸せの週末旅

どの髪型にする?
最旬ヘアカタログ

アートな映画に夢中

クルーズコレクション詳細

ひざ丈スカートで最強コーデが完成!

山田涼介
24歳、男の色気

エマ・ワトソン

エルザ・ボーン **12**
OCTOBER 2011

世界一住みたい街
バンクーバーで
したい10のこと

世にも恐ろしい
大女優の鬼ママ列伝

もしも40代女子が
インターンしたら?

Love FASHION

秋のおしゃれ革命

モード戦士はもう古い!? 今すぐおしゃれ脳をマインドセット





マリー・サロメ・
ペホネルさん

パリ出身。ライターとして活躍し、短編小説をまとめた書籍『Le Livre qui console』を出版。アート分野で働きたいと、2014年に渡米。現在はCatinca Tabacau Galleryのプレス担当に。

アート分野へ転職のためインターンに挑戦

パリでジャーナリストとして、カルチャーやアートに関する記事を書いていたマリー・サロメ・ペホネルさん。海外でアートを提供する側になりたい、という熱意を胸に2014年渡米した。アートフェアでカティンカ・タバカウ・ギャラリーのオーナーに出会い、インターンが決定。カティンカさん自身も、国際弁護士からギャラリーオーナーに転職した経緯を持つので、意気投合したそう。週に3回のインターンを開始し、プレスリリースの作成を担当。展覧会を初キュレートした際は、多くの人を訪れ、メディアにも取り上げられた。5ヶ月後には、晴れてプレス

を担当するディレクターに。「インターンはちょっとした賭け。当初は27歳という年齢が上すぎるのではないかと、懸念しましたが、ギャラリー経営に関する多くのことを学びました。今後はキュレーターとしても活躍したいです」

